

## 第 56 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 議事概要

○と き：令和 3 年 7 月 30 日（金）18 時 30 分から 19 時 40 分まで

○ところ：大阪府庁本館 1 階 第三委員会室

○出席者：吉村知事・田中副知事・山口副知事・海老原副知事・危機管理監・政策企画部長・報道監・  
総務部長・財務部長・福祉部次長・健康医療部長・ワクチン接種推進監・商工労働部長・教  
育長・府警本部警備部長・大阪市健康局首席医務監

### 【会議資料】

#### 会議次第

資料 1 - 1 現在の感染状況について

資料 1 - 2 現在の療養状況について

資料 1 - 3 療養者数のシミュレーションについて

資料 1 - 4 感染状況と医療提供体制の状況について

資料 1 - 5 宿泊療養施設の確保について

資料 1 - 6 滞在人口の推移

資料 1 - 7 緊急事態措置の実効性確保に向けた取組み

資料 1 - 8 （参考）営業時間短縮要請の実効性確保に向けた取組み

資料 1 - 9 （参考）感染防止認証ゴールドステッカーについて

資料 2 - 1 緊急事態措置に基づく要請

資料 2 - 2 府立学校における今後の教育活動について

資料 2 - 3 専門家のご意見

### 【知事】

- ・皆さん、お疲れ様です。
- ・先ほど、国の対策本部会議があり、大阪府に緊急事態宣言が発出されるということになりました。
- ・今の大阪の感染状況ですが、デルタ株が急拡大しており、非常に危機的な状況だと思っています。
- ・東京・首都圏の感染者数がよく報道されますが、実は、大阪の感染拡大の速度は、東京・首都圏と同じです。
- ・大都市圏ということで、感染が急拡大しやすい環境が整っている。
- ・大阪は第四波を経験しましたが、非常に感染が急拡大しやすい環境でもあり、そして、デルタ株があります。
- ・デルタ株の感染拡大の強さというのは、非常に脅威的なものがあります。
- ・極めて危機的な状況だと思えます。
- ・その中で、緊急事態宣言が発令されます。
- ・何度も府民や事業者の皆さんにお願いをしているのですが、何とか、第五波の大きな波を乗り越えていくために、府民の皆さん、事業者の皆さんにご協力をお願いすることが必要だと思っています。
- ・緊急事態措置の中で、対応を進めていきたいと思えます。
- ・一方で、ワクチンは進んでいます。

- ・この間、65歳以上の高齢者の皆さんには、ほぼ希望する方にワクチンが行き渡っている状況です。
- ・その結果もあって、第四波と違い、高齢者の陽性者、そして、重症者が非常に少ないという現実があります。
- ・一方で、それで安心かと言われれば、まったくそういうことではなくて、40代・50代は重症化しやすい。
- ・また、重症化前の、いわゆる中等症、特に中等症Ⅱと言われる酸素マスクが必要になる、諸外国においては、これも重症とされています。
- ・ワクチンがほとんど行き渡っていない40代・50代に感染が広がる、今、中等症の病床が増えつつあるという現状でもあります。
- ・このままいけば、おそらく、大阪も東京・首都圏と同じような陽性者数になってきます。
- ・感染拡大の角度は同じですから、少し遅れて同じような状況になります。
- ・ここをなんとか変えていく必要があると思っています。大阪の感染急拡大の状況について、府民の皆さんや事業者の皆さんと認識を共有して、大きな波を抑えていきたいと思います。
- ・今日は、大阪における現在の感染状況、療養状況を踏まえて、府民の皆さんへの緊急事態宣言に基づく措置内容を決定したい。
- ・府民の皆さんと共に、何とかこの感染急拡大を抑えて、府民の皆さんの命、生活、健康を守っていくための対策をとってまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

※資料1-1に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-2に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-3に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-4に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-5に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-6に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-7に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-8に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-9に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-1に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-2に基づいて、教育長より説明。

※資料2-3に基づいて、健康医療部長より説明。

#### 【田中副知事】

- ・健康医療部長にお聞きしたいんですけども、資料1の6ページと7ページを見比べてみたところ、デルタ株への置き換わりが東京に比べて大阪はまだ少ない。
- ・けれども、感染拡大の増加（スピード）は同じということですよ。
- ・それはまん延防止等重点措置と緊急事態措置の違いなのか、それともそれ以外の何か別の要素が考えられるんですか。

### 【健康医療部長】

- ・ 8 ページに東京の人流を記載しております。
- ・ 8 ページを見ていただきましたら、7月12日以降、東京では人流が多少下がっている。
- ・ その前段階でも、ピーク時よりも若干少ない人流、これは緊急事態措置の影響があると思います。
- ・ 11 ページを見ていただきたいんですが、大阪は6月22日に緊急事態措置解除後、人流が大きく戻り、ピーク時並みに人流が長期に渡って拡大しているという要因が一つにはあると思います。
- ・ そういう意味では、人流がピーク時並みに4週間続く中で、まだデルタ株の置き換わりが3割にも関わらず、この感染状況になっている。
- ・ 今後、置き換わりが進むとこの人流のままでは大きな感染拡大のリスクがあるという見立てになると思います。

### 【田中副知事】

- ・ 危機管理監にお聞きしたいのですが、これからも、引き続き、飲食店の方に厳しいお願いをしていかないといけないわけですが、並行して、ゴールステッカーの認証作業を急ぐというのを我々としてやらないといけないことだと思うんです。
- ・ 今後の見通しはどんな感じですか。

### 【危機管理監】

- ・ 先ほど説明を省かせていただきました資料1-9をご覧ください。
- ・ 初期の頃は申請が2万件、それから、非常に短期間で増えまして今3万8000件。
- ・ もう横ばい近くになっているかと思います。
- ・ その中で徐々に認証まで至っているもの、あるいは現地確認の申込みを依頼しているもの、と段々認証に向けて進んでいるんじゃないかと思っております。
- ・ 認証につきましては、かなりの部分を外部委託しておりますけれども、その体制を7月から8月にかけてかなり強化し、また、最終審査、あるいは、実際に申請された方への督促などにつきましても常に外注先とやりとりし、外注先と大阪府が一体となって取り組んでおりまして、8月には何とか7月中に申請されたものが認証まで至るようにしたいと思っております。

### 【山口副知事】

- ・ 今回、国から緊急事態宣言が出され、そういう中で府として対策を講じていくということなんですが、水曜日の段階では、大阪府としては指標に基づいて判断していくというメッセージを出しており、その上で、国が、今回、緊急事態宣言の区域に大阪府をいれるということになったんですけれども、国がどういうふうを考えて入れたのか情報があれば説明をお願いしたい。

### 【政策企画部長】

- ・ 今、国からお聞きしておりますのは、7月28日の厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードにおきまして、関西エリアでの評価として、大阪では新規感染者数は20代・30代を中心に増加が続き、約10万人あたり36人になっている。
- ・ さらに、それを踏まえて急激な感染拡大が継続するであろう。

- ・継続することにより感染拡大が続くと懸念されるとともに、今後の見通しとしても、まん延防止等重点措置が取られて滞留人口の減少は限定的に見られているけれども、デルタ株への置き換わりも進む中で、これまでにない急速な感染拡大が懸念される。
- ・特に、東京におきましては、40代・50代の入院患者の増加が続いておりまして、今後、熱中症などの緊急搬送が増加するなど一般医療の負荷も増加する中で、このままの状態が続けば、通常であれば助かる命も助からない状況になると強く懸念される、その他の埼玉、千葉、神奈川、大阪も今後同様の状況が生じることが懸念される。
- ・これを踏まえて、分科会でもご議論されて、今回、大阪府も緊急事態宣言の区域になったという形でございます。

#### 【山口副知事】

- ・平たく言えば、早晩、大阪も東京圏のような事態が十分想定されるということで非常事態宣言を発出し、ブレーキを踏まないといけないという理解でいいですか。

#### 【政策企画部長】

- ・そのようにお伺いしております。

#### 【山口副知事】

- ・そういう考え方は我々も十分わかるので、緊急事態宣言というのはやむを得ないのかなと思うんですが、府民の方や事業者の方にとっては今までとはだいぶ流れが違う。
- ・まだなんとか踏ん張りながら頑張りましょうというメッセージから、もう緊急事態宣言で、例えば、飲食であれば酒類提供について、今まではゴールドステッカーの取得や申請をすれば可能としていたところを止めてくれとか、大規模商業施設も21時が20時になり、唐突感があるというか、いきなり来たなという感じがある。
- ・さらに、指標も全部は上回っていないということで、危機意識を共有するっていうのが、今回の場合、非常に難しいんじゃないかと危惧しています。
- ・やはり我々の方から、早晩、東京みたいにならないように、東京と言っているのかわかりませんが、更に悪化をしないようにしっかり対策を今のうちに取らなければならないんだという働きかけを強めていかないといけないと思うので、例えば、見回り隊は飲食店と直接接触をされるので、単に守ってくださいということだけじゃなくて、今の状況を十分に説明した上で、協力いただけるような取組みをぜひお願いしたいと思う。
- ・そのところは危機管理監がどんな感じに進めようとしているのか教えてもらいたい。

#### 【危機管理監】

- ・おっしゃる通りであり、これまで以上により丁寧な説明をしてご理解いただかないといけないと思っております。
- ・これまででしたら、ゴールドステッカーの申請や認証をしていただいたら、アルコール提供可だったものが、緊急事態宣言ということもあって、アルコールの提供は駄目。
- ・それに対して反発されるお店とかもあるかと思っておりますので、より丁寧な説明をこれから見回り等でや

っていききたいと思っております。

#### 【山口副知事】

- ・その点をぜひお願いしたいと思います。
- ・43項目のチェックをするっていうのは非常に大変な作業をお願いしてきたということなので、そこを水泡に帰さないような形で丁寧な説明と対応をぜひお願いしたいと思います。

#### 【海老原副知事】

- ・今、山口副知事からもお話があったと思うんですけども、今回の緊急事態宣言は、今までからすると少し早めのタイミングで国が発令したということだと思えます。
- ・それをどうやって府民の皆様にもリスクを感じていただけるかということで申し上げれば、先ほどの健康医療部長の説明にあった、デルタ株の置き換わりが東京に比べるとまだ3割と低いのに、同じような陽性者数の伸びを示しているところが非常に気持ち悪いというか、このところを国としても見たのかなと思ったりしているところです。
- ・デルタ株への置き換わりのデータというのが、陽性者数の判明とほぼ同時にわかるものなのか、あるいは陽性者数がわかってから何か難しい検査をして3日とか4日とか遅れるのか、遅れるのであれば遅延指数ということになっちゃうので、モニタリングするにしても先手先手で予想しながら、対策を講じていくことも必要かなと思いますし、すぐわかるんだったら、一致指数だと考えればいいと思えますけども、タイムラグみたいなものをどう考えるのか教えていただけないでしょうか。

#### 【健康医療部長】

- ・数日のタイムラグはあります。
- ・そこは非常に短くなっておりまして、検体を集めてモニタリング検査することになりますと1週間とかかかってしまいますが、今、無作為でどんどんデルタ株かどうかの検査をしておりますので、ほぼ1日とか2日とかの遅れで、デルタ株の陽性かどうかわかるということです。
- ・一つの注意点としては、デルタ株陽性者の濃厚接触者がデルタ株であれば、それはその範囲内のことということで、リスクというのはそんなに高くないということなんですけど、今、デルタ株陽性者のほとんどがリンクレスです。
- ・普通に、抽出検査をすれば3割近くがデルタ株ということで、その分デルタ株の市中感染が進んでいるという意味で、健康医療部としたらリンクレスのデルタ株陽性者の方がどの程度かということも非常に注視をしております。

#### 【海老原副知事】

- ・リンクレスだけが増えてきているっていうところは非常に危機感を持つべきだという意味だと理解しましたので、そのデータをよく見ながら考えていききたいと思いました。

#### 【知事】

- ・デルタ株への置き換えが進んできていて、また、デルタ株の感染拡大力というのは凄まじいと思っています。

- ・非常に厳しい危機的な状況にあると思っています。
- ・大切なのは、この危機意識を府民の皆さんや事業者の皆さんと、どのように共有していくか。
- ・僕は、ここが今回の非常に重要なポイントではないかなと思っています。
- ・東京でも「緊急事態宣言が出ているのに感染者が増えているじゃないか」と言われています。
- ・よく報道もされますが、「もう緊急事態宣言は意味がない」、あるいは、「高齢者のワクチンが進んでいるから、もういいんじゃないのか」という空気が流れています。
- ・緊急事態宣言そのものの重みというか、国家として切れる最後のカードなのに、「もういいじゃないか」という空気が流れている。
- ・ここに僕は非常に危機意識を持っています。
- ・だからこそ、基準を明確にして、「医療もひっ迫した状況に入ってくるから、その時には頼みます」、「そういった状況にならないように皆で努力しましょう、そうなったときは皆さんお願いします」、こういったコミュニケーションが非常に重要かなと思います。
- ・今の段階でも、非常に厳しい状況ですが、より感染を抑え、行動変容をお願いし、リスクを共有するということの基準や理由が必要ではないかと思って、基準を設定しました。
- ・一方で、先ほどの政策企画部長の説明でもありましたが、国が言う指摘も非常によくわかります。
- ・そこについては、僕も全く異論はなくて、デルタ株の感染拡大が非常に強く、このままいけば、病床もひっ迫し、東京に近いような状況になってくるといえるのは、よくわかります。
- ・では、どうやってリスクを共有するのかということところが今回は非常に重要ではないかと思って基準を出しました。
- ・ただ、最終的に決定するのは国です。
- ・国において、我々も認識しているデルタ株の感染拡大力を踏まえ、もう今の段階で緊急事態宣言ということなので、この緊急事態宣言の中でお願いをしていく、対策を徹底していくということが重要だと思っています。
- ・そうなってくると、まず一つには、飲食店の皆さんのご理解というのが非常に重要になってくると思います。
- ・この間、ずっと時短要請や、感染に強い飲食の場を作っていこうということで、山口副知事からもありましたように、ゴールドステッカーのお願いをして、非常にたくさんの項目をクリアしながら、一生懸命対策をとってきて、そこに力をかけてきたのにも関わらず、お酒はやめてください、ゴールドステッカーの有無に関わらず一律やめてください、というお願いをすることになってしまいます。
- ・なので、飲食店の皆さんに対するお願いの理解を得ていくというのは、非常に難しい部分はあるんですけども、感染に強い飲食の場作りというのは、必ず必要になってきます。
- ・緊急事態宣言でお酒を提供しないということになれば、休業するお店も増えてくるかとは思いますが、その中でもゴールドステッカーを広げ、感染に強い飲食の場を増やしていくんだという意識を、現地の調査員や書類審査のメンバーに共有してもらおうということを経営管理監からしっかりやってもらいたいので、よろしくをお願いします。
- ・見回りに行くのもまた当然しかりで、ゴールドステッカーからは少し離れますが、17時から20時の間に300人体制で見回りに行くところも、お酒の提供をやめてくださいということで見回りに行くわけですから、「今までと違うやんか」というようなことも、当然これはあり得るわけです。
- ・分科会が理屈で言うのはわかるんですけど、我々現場としたら、社会を動かしてかなきゃいけない立

場にあるので、丁寧に理解を得ていくという見回り活動をよろしくお願いします。

- ・そのあたりは、ぜひ危機管理監よろしくお願いします。
- ・もう一つは、やはり病床です。
- ・健康医療部長からもありましたけれども、今後、中等症は40代・50代が中心になってくるんじゃないか、その先には、重症者が増えてくるのではないかと予測されます。
- ・いかに、この感染拡大を抑えるかによって、その数が変わってくると思うんですけども、傾向とすれば、やはりワクチンが行き届いていない40代・50代が中心になるだろうと思います。
- ・そのときに、中等症の病床確保は非常に厳しくなってきますので、特措法第24条に基づいて、2,500床を新たに確保したわけですが、さらに加えて500床ということで要請しています。
- ・あれは今、どんな状況になっていますか。
- ・何か期限等、決めていますか。

#### 【健康医療部長】

- ・回答期限を設けていますが、まだ要請をしたばかりですので、これから個別に一つ一つ調整をしようと思います。
- ・500床は非常に高いハードルですので、どの程度確保できるかを見極めて、次の手を打ちたいと思います。

#### 【知事】

- ・回答期限はいつぐらいにしていますか。

#### 【健康医療部長】

- ・概ね2週間程度で回答を集めようと思っております。

#### 【知事】

- ・これも特措法のままでいくのか、感染症法の規定に基づいて要請するのか。
- ・まだ期限は来てないわけですけども、感染者数の増加の傾向によっては、緊急事態宣言の中で、感染症法に基づく病床の要請、最後は勧告になります、そこも視野に入れて。
- ・2週間の期限が終わらないと次に行かないって言う間に、陽性者がどんどん増えてくるってこともあり得ますので、そこは頭に入れて、今後、僕も健康医療部と詰めてやっていきたいと思えます。
- ・病床確保については高い緊張感を持って進めてもらいたいと思えます。

#### 【健康医療部長】

- ・新たに500床を要請したところというのは、規模が小さいところや、元々人材がいない、施設が整っていないという医療機関ばかり残っていますので、個別の事情もお伺いしながら、プラスアルファの他の手立てもないのかも含めて、検討していきたいと思えます。

### 【知事】

- ・今、要請しているところ以外でも、他の手立てもいろいろ考えながら、かなり要請ばかりしてはいますが、選択肢がいくつかあり得ると思うので、中等症について、さらに今要請している以外の方法でできないか、先も含めて、よろしくお願ひしたいと思います。
- ・大規模商業施設も特措法第24条の時短の願ひはあるわけですが、中でも一番大きく変わるのは、やっぱり飲食やカラオケ設備があるところについてお酒の提供をやめてくださいということになるので、一番大きく影響が出てくるころだと思います。
- ・協力金の支払い状況ですけども、協力を得るという意味では、やはり非常に重要なポイントになってくると思います。
- ・現状、かなり商工労働部が頑張ってくれて、組織も作ってやってくれているので、かなり追いついてきています。
- ・あわせて、早期給付の制度も導入するというところで一生懸命やってくれていますが、緊急事態宣言が発出されて、お酒はやめてくれというわけなんで、スピード感についてさらに力を入れてもらいたいと思いますが、このあたりの状況はどうですか。

### 【商工労働部長】

- ・1月から、第1期の協力金を含めまして、順次支給してきております。
- ・第1期から第3期までの分につきましては、もう9割を超えるような状況で、残りは不支給等々も含めての処理をしていく状況です。
- ・4月以降の分につきましても、第4期はほぼ8割を支給しているところでございまして、それ以降につきましても、順調に支給しているという状況です。
- ・いろいろとお声を聞きますと、毎月一定の額が協力金として支給されるという見通しがつくと、飲食店の方や事業者の方も安心して先が見通せるということで、順調に一定のものを出していくというのが、一番重要なのかなと考えております。
- ・また、早期給付の7月・8月分ですが、これにつきましても、もうすでに半分を支給しているところでございまして、おそらく、申請数が約1万件ということで、今日がちょうど締切になっておりますが、これについても順次支給を進めていきたいと考えています。

### 【知事】

- ・早期給付について、ここは非常に重要だと思うんです。
- ・緊急事態宣言に変わるということで、支援金の金額も、この後は、また変わってくることになると思いますが、早期給付の部分については、当然このままの制度でいくこととなります。
- ・スピード感が非常に重要なので、当初予定していた、お盆前までにはほぼ支給を完了する。
- ・これはぜひ完遂してもらいたいと思うんですけど、状況はどうですか。

### 【商工労働部長】

- ・今日が申請の締切日になり、最終的な数字はまだ確定しておりませんが、おそらく、お盆前までというスケジュールで進めていくことはできると考えています。
- ・進行管理は十分留意していきたいと思います。



### 【知事】

- ・進行管理について、しっかりよろしく申し上げます。
- ・教育活動に関して、この間、緊急事態宣言でいろんな措置もあったので、例えば、修学旅行が延期になって、最後のタイミングでこの夏が来ているというところもあります。
- ・また、中学生や高校生は、最後の発表の場や公式試合がこの時期に入っている場合も多いです。
- ・甲子園等、非常に目立つところについては報道で取り上げられたりもしますが、そうじゃないところについても高校生や中学生にとっては最後の発表の場であり、非常に重要な教育活動であると思っています。
- ・修学旅行についても、僕らも振り返ってみたら人生の思い出になっている。
- ・そういった意味では、何とか行かせてあげたいという思いもあります。
- ・この間振り返ってみたら、アルファ株のときもそうでしたし、デルタ株もそうですけれども、小学生、中学生、高校生のあたりで重症者はほとんど出ていないという状況でもあります。
- ・もちろん、クラスターが出ているので感染対策はしっかりやらないといけません、そこで死亡や重症というのは生じていない。
- ・これは、コロナの特徴にもなっているんだろうと思います。
- ・顕著な特徴が出てきていると思っています。
- ・なので、感染対策はしっかりとる必要がありますが、教育という観点から考えたときに、最後の発表の場、最後の試合、あるいは修学旅行はできるだけ感染対策を実施して、実現させたいと思いますので、この案でぜひお願いしたいと思います。
- ・大阪は緊急事態宣言に指定されているエリアなので、行き先の都道府県とは、修学旅行についてどうかというところはしっかり確認した上で、できるだけ子どもたちの教育的な観点から実現させたいと思います。
- ・ただ、感染対策はしっかりとって進めてもらいたいと思いますので、よろしく申し上げます。

### 【教育長】

- ・この本部会議の後、詳細について、各学校に通知をいたします。
- ・今の趣旨、今回は修学旅行の実施は認める、ただし、感染防止対策は徹底してやってほしいということ、改めて通知していきたいと思っています。

以上